

課題名：モモ新品种「白皇」、「白露」の高品質安定生産技術の開発（令3～5）

内容：岡山県で育成されたオリジナルモモ新品种の「白皇」及び「白露」は、晩生品種の岡山白桃として生産者に注目されており、県内の栽培面積も増加していますが、生理障害の発生や収穫適期が判定しづらいなどの課題があります。そこで、両品種の生理障害の低減技術や収穫適期の判定技術を確立することで、高品質な果実を安定生産する栽培技術を開発しています。

亀裂

果梗内亀裂小果 正常果

慣行果実袋(左)と白黒果実袋(右)を被袋して生産された「白露」の成熟果

「白皇」の裂皮対策用の試験袋

果実表面の裂皮

「白皇」に見られる生理障害果

試作した「白露」収穫用カラーチャート

「白露」は大玉なため、袋が裂開しやすく、裂開部のみ着色することがある

両品種の課題を解決することにより、「岡山白桃」のブランド力強化と儲かる農業を実現できる

[果樹研究室HPへ](#)

[農業研究所HPへ](#)